

## CO2 を机上でなく現実に 5%削減する！

### 東南アジアでのゴムの木の植林の 新しいプロジェクト提案書

#### ゴムの木の魅力

##### ゴムの木から得られるもの

- エタノール  
⇒ 非食糧を原料としてエタノールを増産
- 生ゴム  
⇒ タイヤなどの生産に使用
- CO2 排出権  
⇒ 植林により CO2 を削減
- 材木  
⇒ 家具や建築用材に使用  
⇒ バイオマス燃料となるチップに加工

#### 提案のねらい

##### ねらい①

- 炭素吸収の優等生であるゴムの木は、その成長過程において大量の炭素を吸収し、さらに成長の後も常に大量の炭素を吸収する。**CO2 吸収量は杉の 3. 2 9 倍**といわれ、コストパフォーマンスが非常に良い
- ゴムの木の植林には、労働力、広大な土地、育成に適した気候、事業を支える資金、ノウハウが必要

二つを組み合せると・・・

**地球温暖化防止と持続可能な開発を目指す  
と同時に熱帯雨林の回復が図れる！**

## ねらい②

- 我が国の安全保障を高める新しいエネルギーの確保が図れる
- 熱帯に最適の産業が勃興し貧困から脱却して生活の安定が図れる
- 途上国の政治経済が安定し、民生の向上で紛争やテロ撲滅が図れる

ということは・・・

鳩山首相が提唱した途上国や島嶼国に対する  
「鳩山イニシアチブ」の一部となる！

更なるドル安が取り沙汰される中、温暖化防止に活用すると言えば、日本が保有する米国債を、少くも手放すことに、アメリカも正面切っては、反対できないでしょう。値下がり懸念される米国債を売って広大な土地を99年間にわたって利用することが出来る権利が得られ将来のエネルギーの安全保証に繋がる。

## ゴムの木の植林によるメリット

CO2を実質的に減少させるために  
最高のCO2吸収パフォーマンスを誇る  
ゴムの木の植林

↑↑

全世界が支援

その先頭に立つのが我が国でありたい！

- ①自然由来の削減効果！  
最もコストがかからず効果も確実に期待できる！！
- ②ゴムを植林できる地域は限られているものの、その地域は今後  
繁栄の果実を得ることができる！！

## ゴムの木の植林地域

世界のゴムの生産の約3分の2は、  
タイ・インドネシア・マレーシア



ゴムの木の植林に  
適した気候を有する国



プロジェクト受け入れ国におけるゴムの木の植林、木の手入れ、管理、樹液の  
採取、輸出等、新産業の勃興を促進する



住居・病院・学校・社会インフラが整備され民生の向上につながる  
ゴムの木の植林プロジェクトは、  
温室効果ガスの25%削減公約を達成させるための  
有望な事業のひとつになると考えられる！

## ゴムの木の植林に必要な資金

この事業を国民参加型のプロジェクトと位置づけます！

1年間に必要な資金は2,280億円、  
また、CO2を5%削減するためには10年間かかると試算しています。

つまり、、、

国民一人あたり年1,795円を10年間⇒18,000円弱  
一人18,000円弱でCO2を5%削減できます！

## 草の根基金(Save the earth)の運営

植林を目的とした投資信託を創設し、  
国民に資金運用の希望を与え、活気を取り戻す！

- 募集金額 2,280 億円 (1 \$ = 90 円) (年間必要資金)
- 1口金額 42,750 円 (1 \$ = 90 円)

植林投資信託1口で  
日本の1家族が消費する酸素が賄えます！

### 植林投資信託の特徴

- ・政府が一部を購入するので、投資家の安心感が増す
- ・植林投資信託で相続する場合は相続税の一部減免を図る
- ・自分の酸素は自分で作ることを実感できる
- ・タンス預金など休眠資金の活性で、金融機関に資金が還流

## 投資の基本コンセプト

